



「臥竜鳳雛」



*タイトルの意味は？調べてみよう

2020・12・24 第34号

学年主任 森本 聡一郎

日較差に対応して、心身の健康維持。進路目標の決定
普通であることを最低限のレベルと心得よう。
その最低限のレベルをどこまで上げていくかが課題です。

1. 「年の瀬に」

25日の終業式を最後に冬季休業に入ります。『1日の計は朝にあり。1年の計は元旦にあり。』1日の計画は早朝に立て、1年の計は元旦に立てるべきである。物事は最初が肝心であるという喩えです。『計』とは計画の意味です。とはいうものの、私も実際に計画を立てることはできないものです。しかし、初詣には必ず行きます。今年1年の家内安全を祈願します。一年に1度は直立不動の姿勢と心で心身を清めたいと思います。

●正しい参拝方法

- ①必ず手と口を洗うこと（杓はそのまま口につけない）
- ②そっと賽銭箱にお金を入れます（お金を放らない）
- ③鐘を鳴らします
- ④2礼2拍手し、両手を合わせて日頃の感謝とお願い事をします
- ⑤最後に1礼



●年賀状を出そう

年賀状の歴史 … 平安時代に貴族の間で新春に年賀の挨拶を賀状にして述べる風習があり、江戸時代に飛脚制度の発達で年賀状の交換がされています。

年賀状のマナー… 1年の初めにあって友人や知人の幸せを祈る挨拶状です。新しい年の初めにあたり、感謝や近況、抱負などを書きます。賀状は本来、1月3日までに届くようにします。遅くとも7日までが年賀です。

2. 「冬休み中の心得」

1. いつも以上に金回りのいい時期ですが、無駄遣いしないこと。修学旅行のお小遣いのことを考えて節約を心掛けよう。また、一般社会の中で、未成年かつ高校生としてのルールは絶対守ること。

* 飲酒・喫煙・バイク乗車などは論外です。糸の切れた凧のように、あっちフラフラ、こっちフラフラにならないように注意してください。安易な誘惑に流されないこと。

2. 年末年始の多様な中で、家の手伝いをしっかりしよう。

年末年始は家の手伝いならいくらでもありますよ。

「働かざるもの食うべからず」でいきましょう。

3. 事故・怪我・病気などがないように、安全や健康には十分注意しよう。万一、何かあれば必ず学校又は担任の先生に連絡してください。発熱等でPCR検査を受診した場合は必ず連絡してください。



- 4.宿題・課題は必ず完了して提出すること。早めの取り組むのが大切で、除夜の鐘が鳴るまでに終わってしまうのが必勝法。課題がたくさん出ているので、一覧表をよく見て計画的にすすめよう。
- 5.始業式後に頭髪服装検査があります。男子でやや長い髪の指摘を受ける人が毎回います。最初からすっきりとした状態で登校できるようにしておいてください。染髪や加工などは論外です。

3. 「いよいよ勝負のスタートラインへ」 自分の人生に本気であれ

2年の冬休みを迎えれば、もう3年生の0学期の始まりである。ここで本気モードに入らねば、4月になってからでは完全に出遅れである。自分は何がしたいのか、どういう人生を歩もうとしているのか、もう一度自分自身に問いかけてみてほしい。

キミ達の将来や行く末を案じる教師や保護者はあの手この手を駆使して、キミ達を追い込もうとするだろうが、結局はキミ達にやる気がなければそれまでのことである。あとで臍(ほそ)を噛むことになっても自業自得だ。世の中が見えるようになれば少しは変わるのだろうが、見ようともせず、気付こうともしないのなら、スタートは遅れる一方である。何となく「勉強はしなければいけないのだろうな…」と思っている人は、(実は大半の人がこのタイプなのだろうが)やはり甘い。何のためなのか、その動機がはっきりしないで、どうして努力が意味を持ち得るだろう。

子どもたちを馬車馬のように駆り立てる教育もどうかと思うが、あまりにのんびりさせてしまうのは大人の責任なのでは…と考えてしまう。人間というものは本気になれば少々のことはできる。学校の勉強くらいなら間違いなくできる。それをせずに尻込みしている、この弱い心は何なのだ。これだけの時間や機会を与えられているというのに、もったいない話である。自分が何のために生を享(う)けたのか、その目的探しの旅はもうとっくに本番を迎えている。さあ、眦(まなじり)を決してスタートラインに向かおう。

1. もっと広く遠くを見よ。努力して辿り着く目的地を定めよう。
2. 20歳、30歳の自分をイメージせよ。「いずれは就職」をどうやって達成するのか考えよう。
3. 毎日具体的に何をするのか努力の数量を決めよう。
4. 「起床時刻、学習開始時刻、就寝時刻」の3点固定ができれば結果は出る。気まぐれ学習では、「やった」気がするだけでは身には付かない。



いろんな頃があって今の自分が…

先日、小学生と一緒に陸上教室をする機会があった。小学生は可愛いし、明るいし、何をしていても楽しそうである。相手をする部員たちも、いつになくいい顔をしている。子どもたちの笑顔の力は、楽しい気分を振りまき、周囲の良いものを引き出してくれる。だが、よく観察すれば、そこはまだ子どもだ。彼らは基本的にわがままであり、とにかくじっとしているのは苦手だ。それに比べ、表情の乏しい高校生たちの方はまだ我慢ができるし、よく言うことを聞いてくれる。

こういうのがある意味成長なのだろうが、それが良いとか悪いとかの評価とは別に、高校生にもついこの間まで間違いなくあのような時代があったのだと思いながら見ていた。そして、彼らがこの歳になるまでのわずか数年の間にも幾つものドラマがあったのだろうと察した。喜びがはじけた日、感情が爆発してしまった日、悔しさに涙し

た日。様々な日々があったことだろう。だが、それがどのような日であれ、家族は彼らを慈しみ、友人が彼らを支え、地域が見守り、声を掛けてくれたのだ。だから、彼らは今ここにいるのだろう。

小学生と触れ合って、わが身に置き換えることで、周囲の人たちへの感謝の念にまで思いを至らせてほしいものだ。おむつを濡らして泣いていた人やお腹を空かせてお乳をねだっていた子が、とりあえずここまで大きくしてもらったのだ。そんなこと何一つ覚えていないくせに。そして、そのような時代はキミ達にも私にもあったのだ。

4. 「クリスマスの裏話」 *Silent Night Holy Night, All is calm, All is bright...*

クリスマスはキリスト教の誕生日ではない？

ChristmasとはJesus Christのためのmass（祭り、ミサ）。つまり、キリスト教世界ではキリストの生誕を祝う「降誕祭（こうたんさい）」という大事な行事です。しかし、昔は（そして今も）彼の復活を祝うEaster（イースター「復活祭」）こそが大切なイベントであって、彼の本来の誕生日はそれほど意識されていなかったようです。

これとは別に、高緯度に位置するヨーロッパ諸国、特に北欧では、陽光に対する憧れは我々の想像以上のものがあり、北半球で最も昼間が短くなる冬至には、太陽の復活を祈る大きな行事が相当昔から行われていました。また、同じく25日には地中海一帯で信仰されていた太陽神ミトラスの主祭日であり、どうやらキリスト教の伝播（てんぱ）とともに、この日にキリスト教降誕を後から重ねていったようです。少なくとも336年にはローマで降誕祭が実施された記録が残っているそうです。

5. 「新学期当初の予定」

1月 4日（月） 仕事始め

7日（木） 始業式・大掃除・LHR

七草セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ

8日（金） 課題考査（①国語 ②数学 ③物理 以下通常授業）

11日（月） 成人の日

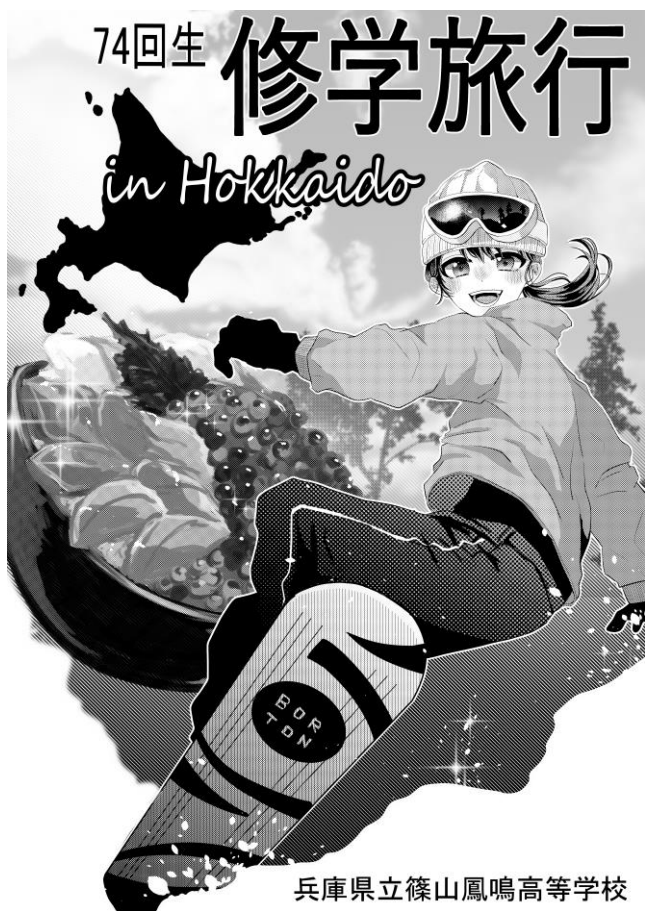
12日（火） 課題考査（①日世B/化学 ②英語 以下通常授業）

6. 「北海道修学旅行の中止について」

過日の保護者会で説明しました北海道への修学旅行は、旅行先の北海道をはじめ全国的にコロナウイルス感染拡大が続いており、現地での医療機関の受け入れも含めて安全な旅行の実施は困難と判断し、北海道への修学旅行中止を決定しました。

これまで準備いただきました保護者の皆様には深くお詫びするとともに、引き続き代替案につきましては検討を続けてまいりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

今回、準備していたしおりの表紙と裏表紙です（作 栗野・中森）



兵庫県立篠山鳳鳴高等学校

